学校番号	3010

令和5年度 工業（ビジュアルデザイン） 科

教科	工業	科目	ビジュアルデザイン実習	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	自主編成教材						
副教材等	色彩デザイン学（六曜社）・書体サンプル集（㈱国際文化カレッジ）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・「点・線・面」という構成の基礎を身に付け、色彩や素材、技法など制作を通して学び、応用力を向上させてください。
・作品制作には真摯に向き合い、提出期限を必ず守ってください。
・プレゼンテーションでは積極的に発表と意見交換を行ってください。

履修条件

なし

2 学習の到達目標

⑴デザインについて社会や生活との関係を踏まえて理解するとともに、関連する知識・技術を身に付けるようにする。
⑵デザインにより解決できる課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき構想を立て解決する力を養う。
⑶デザインによる豊かで快適な生活空間を構築する力の向上をめざして自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	ビジュアルデザインを構成するエレメント課題について関心をもち、それぞれの特質を理解し、適切に構成する知識・技術を身に付けている。	色彩や素材、技法について、考察し、基礎的・基本的な知識と技術を基に、表現する創造的な能力を身に付けている。	デザイン案を粘り強く考え、課題を発見し、表現の向上をめざしている。プレゼンテーションでは積極的に発表し、他者と意見を交わし、理解を深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	「点」の構成	道具の使い方 点の特質 点を使った構成 発表	a:点の特性を理解し、動きや空間を感じさせる画面を構成することができる。 b:道具を使い、丁寧に作品を制作することができる。 c:提出期限を守り、積極的にプレゼンテーションすることができる。	観察 作品	観察 作品	観察 作品 発表
	「線」の構成	線の特質 線を使った構成 発表	a:線の特性を理解し、躍動感や空間、リズムを感じさせる画面を構成することができる。 b:道具を使い、丁寧に作品を制作することができる。 c:提出期限を守り、積極的にプレゼンテーションすることができる。	観察 作品	観察 作品	観察 作品 発表
2	「面の構成」	明度・色相・彩度について 感情を表現する 面を使った構成 発表	a:面分割と配色の特性を理解し、感情を感じさせる画面を構成することができる。 b:道具を使い、丁寧に作品を制作することができる。 c:提出期限を守り、積極的にプレゼンテーションすることができる。	観察 作品	観察 作品	観察 作品 発表
	平面構成	自然物の形態観察 自然物による線や面を使った色彩構成 発表	a:自然物から抽出した線や面を使い、調和的な画面を構成することができる。 b:道具を使い、丁寧に作品を制作することができる。 c:提出期限を守り、積極的にプレゼンテーションすることができる。	観察 作品	観察 作品	観察 作品 発表
3	画材研究	画材について学ぶ ポスターカラー・アクリル絵の具 色鉛筆・パステル ミクストメディアによる色彩構成 発表	a:画材の特性について、理解し、作品に活かすことができる。 b:モチーフによって適切に画材を使い分け、丁寧に作品を制作することができる。 c:提出期限を守り、積極的にプレゼンテーションすることができる。	観察 演習課題 作品	観察 演習課題 作品	観察 作品 発表
	文字	文字について レタリング 和文・欧文	a:書体の特徴や与えるイメージを理解し、文字をバランスよくレイアウトすることができる。 b:道具を使い、丁寧に作品を制作することができる。 c:提出期限を守ることができる。	観察 演習課題 作品	観察 演習課題 作品	観察 作品

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度